



国際ロータリー第2620地区 米山学友会

会報 Vol.16 2024-25 年度



撮影：王非凡会員

2025 年 5 月発行

目 次

(敬称略)

- 1、国境を越えて育む絆と奉仕の心 (挨拶) 米山学友会長 清水 重楼
 - 2、THE MAGIC OF ROTARY 地区ガバナー 小泉 久司
 - 3、学友会に感謝を込めて 地区米山記念奨学委員長 三浦 顯承
 - 4、感謝の想いを形にして——ベトナム支援活動報告 学友会副会長 ファム ゴック アン
. 学友会理事 レー チュオン ロク
 - 5、2024-25 年度 理事役員メンバーリスト
 - 6、新任役員、新入会員としての1年——所感と抱負 学友 崔 城豪、朱 双彤、李 若源
李 玥璇、王 非凡、王 紅
リン テッ テット
 - 7、2024-25 年度 活動記録 (写真)
 - 8、米山奨学生ひろば ～期間終了に想うこと～
 - 9、2024-25 年度 期間終了の米山奨学生一覧
 - 10、2025-26 年度 新規・継続米山奨学生一覧
 - 11、2025-26 年度 主な行事予定
- 表紙写真撮影：王非凡会員（中国、2022-24 年度/笛吹 RC）

1. 国境を越えて育む絆と奉仕の心

米山学友会長

シミズ シゲロウ

清水 重楼（中国、2021-22/静岡西 RC）



皆さまの温かいご支援とご協力により、2620 地区米山学友会は本年で 16 年目を迎えることができました。学友会会報第 16 号に会長として寄稿の機会を賜りましたこと、心より嬉しく、また光栄に存じます。今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

新型コロナウイルスの収束により社会は落ち着きを見せ始めましたが、世界情勢は依然として混迷を極めております。ウクライナでの戦争、米中間の摩擦、ミャンマーの内戦、さらには世界的な保守主義の台頭など、不安定な国際情勢が続いております。そのような中、ロータリー米山ファミリーの一員として、皆さまとともに、友愛と平和、支え合いの精神をもって国境を超える愛を育ててこられたことに、深い誇りと喜びを感じております。

ロータリーとの出会いは、私にとって人生の転機であり、多くの素晴らしい方々とのご縁を通じて、世界の広さと温かさを実感いたしました。特に、米山記念奨学金を通じて受けたロータリアンの皆さまからのご支援と励ましは、「支え合う社会」の真の姿を教えてくださいました。奉仕活動を通じて、自分本位だった思考が次第に変化し、誰かのために尽くしたいという強い想いが芽生えました。この心の変化こそが多くの学友にとっても、人生における大きな転換点となったことでしょう。

本年度は、7 月 14 日の通常総会を皮切りに、9 月 7 日の柿田川湧水清掃奉仕活動、9 月 15 日の期間終了式、10 月 13 日の三保の松原での奉仕活動、そして 11 月 9・10 日の地区大会や 3 月 16 日の期間終了式など、数多くの行事を皆さまのご協力のもと、無事に開催することができました。心より御礼申し上げます。

また、国際奉仕活動としては、ベトナムにおける台風被災地への教育支援のため、地区大会などで募金活動を実施し、28 万 8000 円余を集めることができました。その全額を被災地の小学校に自転車の寄贈という形で届けることができ、現地の児童の通学環境改善に寄与いたしました。さらに、3 月に発生したミャンマーでの地震被害に際しては、学友会主

導で緊急募金活動を展開し、ロータリアン、大学関係者、米山学友、継続奨学生 の皆さまのご厚意により、約 18 万円のご寄付が集まりました。現在、米山記念奨学会を通じた国際送金の準備を進めており、ミャンマー学友会を通じて支援を行う予定です。

ベトナムやミャンマーは多くの奨学生の母国であり、深刻な災害に見舞われたことは、私たちにとっても胸が痛む出来事です。しかしながら、こうした困難の中だからこそ、国や民族の垣根を超え、共に助け合えるロータリー米山の精神が、より一層鮮明に輝いたように思います。

会長としての一年間、様々な行事が円滑に実施できましたのも、ひとえにロータリアンの皆さま、学友、奨学生の皆さまのご協力の賜物です。会長としては未熟ではありましたが、学友会精神を体現する上野理事をはじめ、創立メンバーとして長年にわたり多大なるご尽力をいただいている青山パスト会長、そして役員 の皆さまのご助力に深く温かく支えられました。また、若手学友たちが熱意をもって奉仕活動に参加し、恩返しの想いを胸に、募金活動にも積極的に協力してくれたことは、今後の学友会にとって大きな希望となりました。

最後になりますが、ご多忙の中、会報へのご寄稿を賜りました小泉久司ガバナー及び三浦顯承米山委員長に、心より感謝申し上げます。今後とも、米山学友会の活動に対し、変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



交流ゲームの優勝チーム。通常総会にて

2. THE MAGIC OF ROTARY

地区ガバナー

コイズミ ヒサシ

小泉 久司（甲府西ロータリークラブ）



新緑の美しい季節を迎えました。

学友の皆さんにおかれましても、エネルギーに満ち、ますますアクティブにご活躍されていることと拝察いたします。

ご存じの通り、米山奨学制度は、日本で最初のロータリークラブを設立した、米山梅吉氏の功績を記念して東京ロータリークラブが設立したものが原点です。米山梅吉氏の遺徳を偲んで作られたこの制度は、いまや日本で外国人留学生を支援する民間最大の奨学団体へと成長しました。

当地区の米山学友会が 2009 年に発足してから 16 年経ちますが、「奉仕の輪」が広がっていることを実感いたしております。学友の皆さんが主体となり、海外の子供たちへの支援、災害への支援活動のほか、地区内におきましても沼津柿田川湧水公園や三保松原での清掃活動をはじめさまざまな奉仕活動に携わり、また自発的な奉仕活動を展開されております。これは大変喜ばしいことです。

皆さんが活躍されることこそが、「ロータリーが発展すること」だと、私たちは考えております。そして、ロータリーの「寛容」の精神を学ばれた皆さんが、これからも日本と世界の架け橋となって、大いに活躍されることに期待いたしております。

皆さんに、私が大切にしている「随所作主（ずいしょさくしゅ）」という言葉をお伝えしたいと思います。臨済宗開祖の臨済義玄禅師の言葉ですが、「どこへ行っても、主になって行動すべし」という意味で、「与えられた所や自分が選んだ道に従い、それに適応して主体的に精一杯生きよう」ということを示しています。人生を歩んでおりますと、時

には自分の思うようにはいかないこともあろうかと思えます。そのような時には、「その時自分にできること」に真摯に取り組み、ご自身の道をコツコツと切り拓いて歩んでいただければと思います。皆さんは日本の大学で学ぶ選択をされました。そして、ロータリーの米山記念奨学事業に巡り合いました。お互いに、この「縁」を大切に活動してまいりましょう。

今年度の R I 会長、ステファニー A. アーチック氏の掲げたテーマは“The Magic of Rotary（ロータリーのマジック）”です。皆さんとの出会いもロータリーのマジックだと思っております。私たちがこれからも手を取り合い、地域社会、そして世界におきまして、ささやかでも人々の心の平和や笑顔につながるような「素敵なマジック」をお届けできれば幸いです。

そして、常に主体性を持ち、何事にも一所懸命に取り組んで行くことができますように。



小泉ガバナーを囲んで、3月の奨学生期間終了式にて

3. 学友会に感謝を込めて

地区米山記念奨学委員長

ミウラ ケンジョウ

三浦 顯承（甲府南ロータリークラブ）



いつも地区米山記念奨学委員会の活動に積極的に参加くださる米山学友会の皆様には、本当にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

2025 学年度の新米山記念奨学生は 22 名を迎え、前年度からの継続奨学生 7 名とあわせ 29 名が現在在籍しております。

2024-25 年度の地区米山記念奨学委員会は 6 月の米山記念奨学生選定基準決定、引継式及びスタートアップ委員会開催をはじめとし、7 月の学友会総会並びに新奨学生歓迎会のサポート、地区米山記念奨学セミナーのZOOM 開催、8 月の指定校を訪問し大学説明会の実施、9 月の奨学生期間終了式開催し2 名が終了、第2580 地区との合同柿田川湧水地の清掃奉仕活動実施、10 月の米山記念奨学生・カウンセラー研修会の実施、学友会主催三保の松原清掃活動サポート、11 月の地区大会参加及び地区学友委員会によるイクスチェンジミーチング開催補助、ZOOM による面接委員対象オリエンテーション実施、12 月の面接選考試験実施、1 月の

世話クラブ・カウンセラー依頼、3 月の奨学生期間終了式は19名が終了、4 月の新奨学生・カウンセラーオリエンテーション及び対面式の開催とこのように活動を列記しましたが、毎月のように静岡市あるいは米山梅吉記念館を訪れ、学友会の皆様の協力を頂きながら事業を推進することができました。学友会の皆様には感謝の言葉しかありません。

ロータリー米山奨学事業の使命は将来日本と世界を結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー活動のよき理解者となる人材を育成することにあります。

米山記念奨学委員会は、奨学生と縁を結びロータリー活動を通じ日本を理解して頂くお手伝いをいたします。奨学生は期間終了後に学友会へ正式に入会し、活躍の場を広げて頂きたく期待しています。

どうぞ今後とも第2620 地区米山記念奨学事業にご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。



4 月、新奨学生と世話クラブ・カウンセラー対面式にて

4. 感謝の想いを形にして——2024-25 年度ベトナム支援活動報告

副会長 ファム ゴック アン（ベトナム、2020-22/浜松南 RC）

理 事 レー チュオン ロク（ベトナム、2020-22/甲府南 RC）

この度、学友会奉仕活動の一環として、ベトナムの小学校の子どもたちに 33 台の新しい自転車を寄付する支援活動が無事に終えることができました。

2024 年 9 月、台風 11 号「ヤギ」がベトナム北部に上陸し、大きな被害をもたらしたというニュースが、日本国内外の報道機関で広く取り上げられました。台風ヤギは南シナ海で急速に発達し、「30 年に一度の規模」とも言われる甚大な被害を引き起こしました。ベトナム国内の報道によると、この台風により 344 人が死亡・行方不明となり、最大風速 65m/s の風と、1 日あたり 200mm 以上の大雨が数日間続いたことで、広範囲にわたって洪水や土砂崩れが発生し、多大な人的・物的被害が出ました。この事態の深刻さと緊急性を認識し、当学友会では被災地の早期復興を支援するため、迅速に寄付活動の計画を立て、実施することを決定しました。



募金活動、地区大会会場のロビーにて

実際に支援活動を実現するために、学友会では募金活動や寄付先の選定など、さまざまな準備を進めました。寄付先については、支援が届きにくい地域に着目し、私が現地調査しました。その結果、山岳地帯に位置するタインホア省バートゥオク郡の「ラム・サ小学校ーチャン村分校」への支援を決定しました。この地域は、台風の影響で道路や学校設備が大きく損傷し、もともと長距離だった通学がさらに

過酷になっているとの声が寄せられていました。こうした状況を受け、少しでも子どもたちの通学負担を軽減したいという思いから、自転車の寄贈を決意しました。



教室に並ぶビカビカの自転車

寄付の準備と実施にあたっては、現地との連絡や調整は決して容易ではありませんでした。地区大会での募金、日本からの送金、現地での自転車と鍵の調達、ステッカーの制作、配送の手配など、ひとつひとつの作業には多くの時間と労力がかかりましたが、「困っている子どもたちの力になりたい」という気持ちで、すべての原動力となりました。また、教育機関や学校関係者、地域の方々、そして学友会理事のロクさんのご家族や関係者の支援を得ることで、着実に準備を進めることができました。

2025 年 2 月 24 日、現地を訪れた当日。校庭に整列した子どもたちは、少し緊張した面持ちで私たちを迎えてくれました。自転車を手に取った子どもたちは、照れくさそうに、慣れない日本語で「ありがとう」と声をそろえてくれました。その瞬間、その場にいた全員の心が、温かくつながったように感じました。寄贈を見守っていた地域の方々や先生方からも「本当に助かる」と温かい言葉をいただきました。今回の支援が、単なる物質的な援助を超えた心と心のつながりを生むものであったことを、改めて実感しました。



小学校の朝礼に参加して自転車を寄贈

子どもたちや地域の方々の笑顔に触れたこの経験は、私自身にとっても大きな学びとなりました。今回の活動を通じて、私は「与えられる側」から「与える側」へと、意識が大きく変わったことを実感しています。これまで私は、奨学金やさまざまなサポートを通じて、ロータリアンや学友の皆さまから多くのご支援をいただけてきました。いつか自分も誰かの力になりたい——そんな思いをずっと胸に抱

いてきましたが、今回ようやくその想いを形にすることができました。

そして、今回の活動の成功は、まさにロータリーファミリーの団結力の賜物です。募金活動や準備段階から寄付実施に至るまで、学友仲間のサポート、米山記念奨学生の協力、ロータリアンの皆さまの温かいご助力があつてこそ、実現できたことです。個人の力は小さくとも、共感し合い、力を合わせることで大きな成果につながる、そのことを改めて深く実感しました。この場を借りて、すべてのご協力者の皆さまに、心より感謝申し上げます。

今回の活動を通して実感した「支える喜び」を胸に、これからも人々の夢を応援し続けたいと思います。今後もロータリーとの絆を大切に、技術者としての力を活かし社会に還元しながら、日本とベトナム、そして世界をつなぐ架け橋となれるよう、一步一步、成長していきたいと思っています。



寄贈式にて



5. 2024-25 年度 役員会メンバー

役職	氏名（出身国/世話クラブ）	
会 長	清水 重楼（中国/静岡西 RC）	
副会長	ファム ゴック アン（ベトナム/浜松南 RC）	
理 事	青山 チャリット（スリランカ/静岡日本平 RC）	孫 麗（中国/大阪なにわ RC）
	上野 佳子（会計兼。中国/東京臨海東 RC）	李 若源（中国/甲府西 RC）
	レー チュオン ロク（ベトナム/甲府南 RC）	朱 双彤（中国/静岡西 RC）
監 事	崔 城豪（韓国/豊中南 RC）	
	柳場 文彦（地区学友委員長、山梨 RC）	

6. 新任役員、新入会員としての1年―所感と抱負

新たな一歩：コロナ後の学友会活動と私の変化

崔 城豪 チェ ソンホ / 監事

(韓国 2015-16/豊中南 RC)

駅前での募金活動や三保松原での清掃活動、地区大会、奨学生面接試験、奨学生対面式など、様々な活動に参加させていただき、想像以上に皆様と楽しく有意義な時間を過ごすことができました。

募金活動では多くの方々の温かい心に触れることができ、清掃活動では自分の専門である環境技術と自然保護の関連性について深く考える機会となりました。また、数々のイベントを通じて素晴らしい出会いにも恵まれ、心から感謝しております。

元来、内向的な性格であった私は、浜松に転職してきた直後にコロナ禍となり、感染への不安から約3年間、会社と自宅の往復だけの引きこもりのような生活を送っていました。しかし、ロータリー米山学友会の活動に再び参加するようになってからは、精神的に前向きになり、人との繋がりを取り戻すことができました。

まだ不慣れな点多々ありますが、皆様と共に活動することで自信が湧き、何事にも挑戦できると感じております。今後とも宜しくお願い申し上げます。

良き先輩をめざして

朱 双彤 シュ ソウトン / 理事

(中国 2022-24/静岡西 RC)

光陰矢の如し、間もなく米山記念奨学生から卒業し、学友として一年間も経ちました。2620 地区学友会の理事を担任させて、現役の米山奨学生や学友同士、ロータリアンと一緒に様々な活動に参加し、異なる視点からロータリー米山というビッグファミリーについての理解が深まりました。

以前色々先輩からアドバイスや助けを頂戴し、学友になった瞬間こそ自ら何かが後輩に手を出すという責任感が生じておりました。2025 年度米山記念奨学生の選考会場に受付の手伝いに出場し、面接の案内するとき、これから米山に関わりがなくなるみんなの新しい面構えを見、緊張しながら、面接の準備をしているみんなの姿を見て、2 年前の自分の姿が繰り返して見えたような感覚でした。当時の自分も先輩方に見る目で、未熟な可愛さがあったわけかな、と実感しました。これか

らも益々努力し、この米山のビッグファミリーで学友の一員として、積極的に活動に参加し、良い模範になるようしっかり力を入れたいと思っています！

「仲間の心強さ」を実感

李 若源 リ ジャクゲン / 理事

(中国 2023-24/甲府西 RC)

時の流れは本当に早く、学友になってからもう一年が経ちました。まだ学生でありながら、学友会の理事という大きな役割をいただき、本当に感謝しています。

この一年、学友会総会や海岸清掃活動、地区大会、そしてベトナムの台風支援募金活動など、さまざまな行事に参加し、現役奨学生や学友、ロータリアンの皆さまと交流する機会を多くいただき、非常に充実した時間を過ごすことができました。

特に印象に残っているのは、ベトナム台風支援活動です。役員の皆さんと一緒に、どのように募金活動を進めるか何度も話し合いを重ねました。その過程で、人のために力を合わせることの大切さと思い、共有する仲間の心強さを改めて実感しました。

これからも米山の一員として、自分にできる範囲で積極的に活動に関わっていきたいと思っています。あと一年で卒業し、社会人になりますが、これからは誰かの力になれるように、一步ずつ成長していきたいと思います。

自己紹介を兼ねて今後の抱負について

李 珮璇 リ ゲツセン

(中国 2021-22/守口イブニング RC)

初めまして、2021-22 年度守口イブニングロータリークラブの米山奨学生の リ ゲツセン (LI YUEXUAN) と申します。大阪でロータリー米山と出会え、献血活動、RYLA オンラインセミナー、ローターアクト活動などを経験させていただき、私の人生は一変しました。ロータリー米山で学んだ奉仕の精神、培ったチームワークの経験、出会った大切な仲間たち、すべてが私の宝物です。若い人たちに成長させる機会を与えてくださったロータリーの皆様に感謝いたします。

米山奨学生を卒業した後、2660 地区米山学友会

でメンターを担当させていただき、後輩たちを支え、皆様の輝かしい姿を見て、やり甲斐を感じました。そのとき米山とのご縁を一生繋ぎたいと決心しました。去年就職したため、大阪から静岡に引っ越し、2620 地区米山学友会に入らせていただきました。11 月の地区大会で新しい仲間と出会えて嬉しかったです。

これからも感謝の気持ちを持ちながら夢や目標に向かって努力します。また、良い仲間を増やし、恩送りができるような米山学友になると頑張りたいと思います

今年のチャレンジ

王 非凡 オウ ヒボン
(中国 2022-24/笛吹 RC)

学部卒業と同時に米山奨学期間を終了。そして大学院修士課程に進学してからもう一年間経ちました。残った一年の中に、実験、論文、学会、博士課程への進学などやらなきゃいけないことがたくさんあります。それで、私は「あの時、そうしたら良かった」って、よく思っちゃいます。でも、落ち着いて考えたら、何かの問題を意識した時点で、その問題を解決する努力を直ぐに始めたら“遅い”なんかはないでしょう。

自身の悩みは心の信念が高すぎてしまい、つまり理想と現実の落差から誕生したものだと思います。この悩みの解決法は二つあります。一つ目、現実を認め、信念を捨てること。もう一つ、物足りない自分を受け入れて、チャレンジを続けること。私は未だ諦めたくないから、今年もチャレンジを続けたいと思います。より良い自分への苦闘(struggle)は私達が生きている現の鮮明な証ではないかと思います。

米山学友としての1年

リン テッ テット
(ミャンマー 2023-24/清水中央 RC)

米山奨学生を卒業して1年間経ちました。時間経つのがすごく早くなっており、知らないうちに社会人の生活を送っていました。米山奨学生としての1年間は人生で家族以外の人たちからの暖かい愛を一番感じられた時でした。

2025 年3月に発生したミャンマーの大地震によ

って大勢の人が死亡して、避難生活になってしまった人数も少なくありません。ミャンマーのことを自分のこととして思いやりの気持ちで心配してくださったのは米山学友とロータリアンの皆様で、すぐお声掛けをしていただき、支援活動も参加していただき、誠にありがとうございました。皆さまの存在は本当に日本の家族としての存在で心強くなりました。

私は学友として米山梅吉記念館にて開催された第16期総会に参加させていただきました。米山奨学生交流会では奨学生になれば後輩たちを見て、自分の時に得られた愛と心の暖かさを後輩たちにも広げていきたいと感じました。しかしながら、他のイベントに参加できず、申し訳ございません。今後仕事が落ち着いたら、現在の奨学生たちとの繋がりが出来れば後輩たちを応援していきたいと思っています。

人材紹介を通して就職支援と地域活性化

王 紅 オウ ベニ
(中国 2008-10/木更津東 RC)

2000 年4月に来日し、山梨での留学生生活4年間、千葉大学では6年間、東京大学では3年間、その後、留学生への進路指導の仕事や中学生の交流支援の社会活動を長年一筋で取り組んできました。

昨年3月ご縁で山梨中央銀行に転職し、現在はコンサルティング営業部・人材紹介サービスデスクで地方の企業支援と教育機関の留学生の就職支援などを取り組んでおります。

11月、ちょうど2620地区の地区大会が甲府で開催され、参加できたことに幸いだと思っており、米山学友会の総会や交流活動の参加などを通して、多くの先輩後輩たちと出会ったことも大変嬉しく思っております。

今後、時間的に許す限り、学友会の活動に参加し、皆さんとの交流を増やして行きたいと思えますし、本地区のロータリークラブとの交流を通して地域活性化や奨学生への支援もして行けたら幸いだと思っております。

世界の国際ロータリーと日本の米山奨学会はとても膨大な組織であり、その中で微力でありながら、「真心の国際人」の皆さまと良き交流を果たしていることに心よりお祈りしております。



7. 2024-25 年度 活動記録 (写真)



(1)		(2)	
(3)	(4)	(5)	
(6)	(7)	(8)	(9)
(10)	(11)		

(1)～(2) 第16期通常総会
 (3)～(9) 柿田川湧水公園清掃奉仕活動
 (10)～(11) 三保松原清掃奉仕活動



(12)	(13)	
(14)	(15)	(16)
(17)	(18)	
(19)	(20)	
	(21)	(22)

- (12)～(18) 三保松原清掃奉仕活動
 (19) 地区大会
 (20)～(21) 国際奉仕活動（ベトナム北部）
 (22) ミャンマー地震支援金募金活動



8. 米山奨学生ひろば ～期間終了に想うこと～

今年度も「奨学生のひろば」を企画しました。期間終了の皆さんに下記7つの項目について任意に回答してもらいました。皆さんの気持ちを尊重し、そのまま掲載いたします。

- ①米山奨学生として最も印象に残っている出来事は？
- ②奨学生期間を経て一番成長したと感じることは？
- ③米山奨学金がなかったら、今の自分はどうなっていたと思いますか？
- ④奨学生期間中に挑戦したことで、自分を誇りに思えた瞬間は？
- ⑤「米山奨学生ならでは」と感じた特別な経験は？
- ⑥卒業後、米山学友または元奨学生としてどんな貢献をしたいですか？
- ⑦これからの夢や目標を、一言で表すと？

グエン ニャット ヒエウ (ベトナム 浜松ハーモニーRC)

- ①対面式後、世話クラブの岩澤秀治さんと青木伯成カウンセラーと一緒に飲食をしながら談笑したことでした。初対面にもかかわらず、まるで旧知の間柄のように打ち解けられたのが印象的でした。
- ②奨学生期間を経て、各例会を通じて人脈が広がり、さまざまな分野で活躍されている方々と知り合うことができました。それぞれの方の経験や知識を伺うことで、私自身も多くの学びを得ることができました。
- ③米山奨学金が単なる金銭的支援以上に、かけがえない人的ネットワークを築く機会がないだろうと思います。偶然ではなく、奇跡のような出会いで、人生を変える可能性を開いて、米山奨学金がなかったら、今の私の人生の軌道は全く異なっていたことは間違いありません。
- ④私は自分の本当の個性を思う存分に発揮し、自分自身を誇りに思える瞬間を経験しました。それは言語の壁を超えて、自分の思いを明確に伝えることができました。また、交流会を通じて、私は自分の独自性を恥じることなく、多様性が美德であり、自分の個性こそが最大の強みであることを学びました。
- ⑤単なる経済的支援を超えて、日本社会の奥深い部分を理解する機会を得たことが、他の奨学金では経験できない特別な瞬間でした。
- ⑥卒業後、米山学友として米山奨学会の精神を継承し、社会と奨学生コミュニティに貢献したいと考えています。米山奨学生として受けた恩恵を、次の世代に還元し、国際理解と相互尊重の架け橋となること。私の人

生の使命は、この奨学金が私に与えてくれた機会と経験を、さらに多くの人々と分かち合うことです。

⑦「受けた恩を、次の世代の夢の種まきに」。この一言には米山奨学金から受けた支援と機会への深い感謝の気持ちと、その恩恵を未来の学生たちに引き継ぎたいという意味です。米山奨学生として学び、成長した経験を、次の若い学生たちに伝え、彼らの夢の実現を支援したいという思いが、この言葉に凝縮されています。



卒業式にて(中央)

采 国孝 チャイ クォシアオ (中国 浜松西RC)

- ①支援者や他の奨学生との交流を通じて多様な価値観に触れたことです。
- ②この期間を経て、研究に集中し主体的に挑戦する力を養えました。
- ③もし奨学金がなかったら経済的負担が大きく、研究や国際学会参加の機会を失っていたかもしれません。
- ④特に誇りに思えたのは、国際学会での発表を成功させ、研究の価値を認められた瞬間です。
- ⑥卒業後は、中日交流支援や研究活動を通じて社会に貢献し、持続可能な未来を支える革新的な材料開発に挑戦したいと考えています。



上田昌広カウンセラーとのツーショット

レティ チョウ クイン
(ベトナム 沼津西RC)

- ① 世話クラブの皆様から支援金を頂いて、母国の枯葉剤被害者の子どもたちに寄付しました。奉仕活動を通じて人と人がつながり、支え合うことの大切さを改めて実感しました。
- ② 異文化の中で多様な価値観に触れ、視野を広げ柔軟に意見を伝えられるようになったことです。
- ④ 例会でベトナムのことを紹介し、参加者から多くの質問を受け、両国の理解を深める架け橋となれたことに誇りを感じました。
- ⑦ 「人と人を結びつけ、より良い社会を築くこと」です。



9月、卒業式にて

キエウ トウ フオン
(ベトナム 甲府東RC)

- ①最も印象的だったのは、カウンセラーさんの家で日本人のようにお正月を過ごし、おせちを食べ、着物でお宮参りをしたことです。
- ②最も成長したのは、何度も人前でスピーチする機会を通じて、自信を持って発表し、うまく話せるようになったことです。
- ③学業とアルバイトに追われ、友人と過ごす時間もなく、日本文化にも触れられず、孤独を感じる淡々とした学生生活でした。
- ⑤米山奨学生ならではの特別な経験は、初めて様々な社会人と深く交流し、親身な支えや貴重な助言を受けながら、日本文化を肌で感じられたことです。
- ⑥この経験を通じて支えられるありがたさを実感し、将来は日本で外国人を支え、日本とベトナムの架け橋になりたいと考えています。



世話クラブの皆様と地区大会にて

賈 永波 カ エイハ
(中国 藤枝南RC)

- ①最も印象に残っているのは、ボランティア活動である。ボランティア活動を通じて、日本の自然環境保護への取り組みや、社会奉仕の精神を実感した。
- ②奨学生期間を通じて、ロータリー米山の理念や奉仕の精神への理解が深まり、コミュニケーション能力も大きく向上した。
- ③もし米山奨学金がなかったら、私は人生や社会に対する多様な視点を持つことができなかった。
- ④奨学生の期間で最も誇りに思うのは、スピーチ能力が大きく向上し、皆さんと文化的な障壁なくスムーズに交流できるようになったこと。
- ⑤米山奨学生だからこそ国際交流や世界平和の重要性を実感し、自分の認識を多方面から高めることができた。



小泉ガバナー(中央)、樽井勉カウンセラーと記念撮影

王 天馳 オウ テンチ
(中国 静岡西RC)

- ①やはり卓話の経験だと思います。昨年に「人生の振り返りと研究課題」をテーマに卓話させていただきました。「卓話」という形式は、話し手と聴き手の距離が近く、双方向のコミュニケーションが促される点で非常に魅力的だと感じました。
- ②この奨学金を通じて、異文化の中で適応力と自主性が向上し、視野が広がりました。特に、ボランティア

活動を通じて多様な価値観に触れ、人とのつながりの大切さを実感しました。

⑥卒業した後、学友会の一員として、続けて米山学友会のイベントに参加したいと思います。米山の精神を持ちながら、ボランティア活動や奉仕活動に参加し、社会に少しでも貢献できれば嬉しいです。

⑦今後は国際交流に貢献できる仕事を目指します。異文化の架け橋となり、人々の相互理解を深める活動に取り組み、多様な背景を持つ人々が共に成長できる環境を創りたいと考えています。



世話クラブの皆様とテレビ局見学

馮 銳 フウ エイ (中国、沼津RC)

①卒業の前に、世話クラブの皆さんが送別会を開いてくださったことです。

②視野が広がって、思考力が成長しました。

③バイト生活に追われ就職活動もちゃんとできなくて、ブラック企業に入社したかもしれないです。

④世話クラブの皆さんに励まして頂き、大手企業に挑戦しようと思った時です。

⑤ロータリアンと毎週交流できること、奉仕精神を身近に感じることです。

⑥仕事を頑張って、他人を助ける側になりたいと思います。

⑦立派な社会人を目指します。



小泉ガバナー(中央)、上田貴彦カウンセラーと記念撮影

ソリマン ゼヤド (エジプト 静岡RC)

①静岡ロータリークラブの例会に初めて出席したことです。温かく迎えていただき、心の余裕があるロータリーの方々と直接交流することで、自分の目指す社会人像がより具体的になりました。

③経済的な不安から研究に集中できず、今のように自信を持って就職や将来の夢に向き合うことはできなかったと思います。支援のおかげで、成長に必要な時間と余裕を持つことができました。

⑤ロータリアンの皆さまとの交流を通して、日本の価値観や働く姿勢を学べたことです。奨学生でなければ得られなかった視野の広がり、私の今後のキャリアに大きく影響すると感じています。

⑥将来的に国際的な場で活躍しながら、米山奨学金の存在を広め、次世代の留学生や若者の支援に携わりたいです。自分が受けたご恩を形にして返していきたいと思います。

⑦「世界の海運を支える技術者になる」ことです。



神谷真太郎カウンセラーとのツーショット

ブ ティ フェン チャン (ベトナム、山梨RC)

①米山奨学生として最も印象に残っているのは、さまざまな社会人の方々と交流する機会に恵まれ、多くの学びを得られたことです。

②最も自分の成長を感じたのは、社会貢献の大切さを深く理解し、「自分も社会の役に立ちたい」という思いが一層強くなったことです。

③米山奨学金がなかったら、今の自分と全然異なり、異文化体験や交流が少なく、色々な方々との大切な人間関係もないと思います。

⑤カウンセラーや世話クラブの皆さんがいてくださったおかげで、支えていただただけでなく、いつでも相

談できる環境があり、日本での生活において大きな心の支えとなりました。

⑥社会人になってからも、思いやりの心を大切にしながら、社会貢献活動に積極的に取り組んでいきたいと考えています。



3月、卒業式にて

カオ ティ キィ ズエン (ベトナム、甲斐RC)

①就活が大変で、何回も失敗して、日本で働くことできないかと思いましたが、ロータリアンの方々が応援とアドバイスをくれて、欠点を改善し、内定がもらえました。

②他人としゃべることが怖がっていた私は、知らない人と積極的に交流することができたことです。

③米山奨学金がなければ、車の免許を取るお金もなく、今働いている職場とのご縁にも繋がらないと思います。

④ほかの留学生や日本人のロータリアンと交流することで、学校の勉強だけではなく、人間関係がうまく行けることを身につけました。



溝口秀男カウンセラーとのツーショット

曾 松洋 ソウ ショウヨウ (中国、三島RC)

①三保の松原での清掃活動が印象的でした。富士山と輝く海を見ながら皆でゴミを拾い、心が洗われる思いでした。

②多様な人々との交流を通じて、自分の考えを伝える力と相手を理解する姿勢が身につき、人間的に大きく成長できたと感じています。

③奨学金がなければ、安心して学べなかったと思います。支援を受けることで心に余裕が生まれ、多くの経験を積むことができました。支えてくれた皆さんに心から感謝しています。

④卓話で母国について話し、皆に理解してもらえた時、成長を実感し誇りに思いました。異なる文化を紹介することで、他の人々との距離が縮まり、自分の存在に価値を感じることができました。

⑤地区大会に参加し、優れた女性の先輩方と直接交流する機会がありました。彼女たちの経験談や挑戦に対する姿勢は非常に感動的で、自分の視野が広がりました。



大庭治美カウンセラーご夫妻とスリーショット

田 鈺凡 デン ギョクハン (中国、甲府中央RC)

②以前、山梨県で行った留学生スピーチに参加したことがあります。当時は怯えて、震えながらスピーチをしていました。でも、奨学生になって、何度も卓話をして、今の私なら、ちゃんとスピーチができると思います。

③大学院に進学するお金がないから、夢を諦めて就職していたかもしれません。

④2回目の卓話で選定していた卓話のテーマは好評を得ていたことです。学校以外の場所で、人前で自分の研究を紹介するのが初めてでした。

⑥県外に進学しましたが、ロータリーファミリーの一員であることにはかわりがない。その奉仕精神を貫きたいので、先日から、奈良県の「災害時通訳・翻訳ボランティア」に登録していました。

⑦少しでも世の中の差別や偏見を解消するために、力になりたい。



4月、大学院の入学式にて

グエン ティ ミー リン (ベトナム、静岡北RC)

①同期の米山奨学生たちと共に行った地域ボランティア活動は楽しく互いに学び合うことができました。

②一番成長したと覚えることは、コミュニケーション能力が上がり、自信を持てるようになったことです。

③米山奨学金がなかったら、今の自分はこれほど充実した学びや経験を得られなかったと思います。経済的な支援がなければ、順調に卒業できません。

⑥卒業後、米山学友として、後輩の奨学生を支援するためのメンター活動や、地域貢献プロジェクトに積極的に参加したいです。

⑦「社会に良い影響を与える存在でありたい」です。



3月、卒業式にて

ジン ミミ テッ (ミャンマー、浜松RC)

①浜松まつりへの参加やボランティア活動です。地域の皆さまと一緒に活動する中で、日本の伝統文化や社会貢献の大切さにふれることができ、私にとって忘れられない貴重な経験となりました。

②人とのコミュニケーション能力と、人前でも自信を持って行動できるようになったこと、そして「人からサポートを受ける存在」から「自分の行動で誰かの役に立てる存在」へと意識が変化したことです。最初は日本語で自分の思いを伝えることに不安がありましたが、例会での会話や発表の機会を通じて、少しずつ自信を持てるようになりました。

③学費や生活費に不安を感じながら勉強を続けることは難しかったかもしれません。米山奨学金のおかげで安心して学ぶことができただけでなく、ロータリアンの皆さまから温かい励ましをいただき、精神的にも大きな支えとなりました。

④例会で日本語のスピーチに挑戦したときです。自分の思いを自分の言葉で伝え、ロータリアンの皆さまから温かい拍手をいただいたことで、大きな自信につながりました。

⑤毎週の例会に参加し、年齢や職業を超えたロータリアンの皆さまと直接お話しできたことです。学生生活の中で、社会人の方々と継続的に交流できる機会はとても貴重で、視野が広がりました。

⑥通訳や文化紹介などを通じて、奨学生や地域の方々をサポートしたいと考えています。自分の経験を活かして、次の世代や地域社会に少しでも貢献できたら嬉しいです。

⑦「人の役に立つ人間になること」です。母国ミャンマーと日本をつなぐ架け橋となり、国際的に活躍できるよう、これからも努力を続けていきたいと思っています。

2年間のご支援とご縁は、私にとってかけがえのない宝物です。浜松ロータリークラブの皆さまに心から感謝申し上げますとともに、これからも学友としてロータリーとのつながりを大切にしていきたいと思います。どうぞ今後ともよろしくお願いいたします。



姚 方勃 ヤオ ファンボ
(中国、パワー浜松RC)

①多くの慈善活動にも参加させていただきました。これらの経験は、社会貢献の意義を実感させてくれるものとなりました。

②私が最も大きく成長したと感じる点は、「責任」と「継承」の大切さを深く理解できたことです。

④奨学金によるご支援は、私が学業と研究に専念するための大きな支えとなりました。そのおかげで、無事に博士課程を修了し、卒業式では卒業生代表として壇上に立つという栄誉にも恵まれました。学びの成果を形にできたことに、大きな励ましと誇りを感じています。

⑤パワー浜松ロータリークラブ、米山記念委員会、そして学友会の皆様から、常に温かいご支援とご指導を賜ってまいりました。心より感謝申し上げます。クラブの皆様との交流を通して、日本の文化や社会についての理解を深めることができました。

⑥ロータリー、そしてパワー浜松 RC で学んだ精神を、今後も大切に胸に刻み、次の世代へと受け継いでいくことを、自らの使命としたいと思います。



柿田川清掃ボランティア活動(右)にて

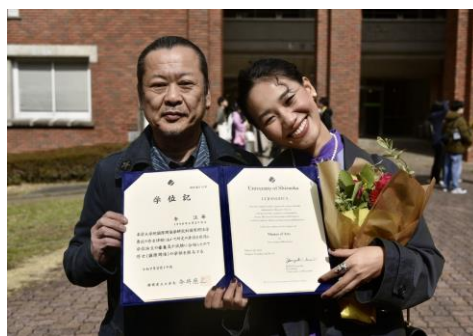
李 江華 リ ジャンファ
(中国、駿河RC)

①送別会でクラブの1人ひとりから温かい言葉をいただき、心に残る貴重な経験となりました。

③自分らしく生き、自信を持って歩む人間へと成長できました。

⑤大学院の卒業式にカウンセラーが来てくださり、一生忘れない出来事です。

⑦クラブの期待に応え、誇りを持てるような人を目指して、これからも頑張ります。



卒業式にて

ロイハン フェルマナ シディック
アシア シャバニ
(インドネシア、沼津北RC)

①留学生として母国のインドネシアの文化を伝える機会を得て、自分の成長と仲間との絆を実感できました。

②異文化の中で自分の考えを言葉にして伝える力が身につき、自信を持って行動できるようになりました。

③学費や生活の不安で進学や研究を諦めていたかもしれず、今のような充実した学生生活はなかったと思います。

④日本語での研究発表に挑戦し、先生や仲間からの評価を得られた時、自分の努力に誇りを感じました。

⑤ロータリアンの皆様との出会いを通して、日本社会の温かさや支え合いの文化を深く学ぶことができました。

⑥米山で学んだ感謝の気持ちを忘れず、次世代の奨学生への支援や地域貢献活動に積極的に関わっていききたいです。

⑦日本と母国をつなぐ架け橋となり、文化と教育の分野で国際的に活躍できる人材を目指します。



卓話、世話クラブの米山梅吉記念館移動例会にて

9. 2024-25 年度 期間終了の米山奨学生一覧

(奨学生番号順、2024 年 9 月終了生含む)

氏 名	国籍	世話クラブ	居住地
李 江華 (リ ジャンファ)	中国	駿河 RC	静岡県
レ ティ チョウ クイン	ベトナム	沼津西 RC	帰国
姚 方勃 (ヤオ ファンボ)	中国	パワー浜松 RC	静岡県
ソリマン ゼヤド アイマン アブダラ アブエルフェト	エジプト	静岡 RC	愛媛県
曾 松洋 (ソウ ショウヨウ)	中国	三島 RC	埼玉県
ジン ミ ミ テツ	ミャンマー	浜松 RC	静岡県
カオ ティ キー ズエン	ベトナム	甲斐 RC	山梨県
田 鉦凡 (デン ギョクハン)	中国	甲府中央 RC	奈良県
キエウ フオン トウ	ベトナム	甲府東 RC	東京都
ブ ティ フェン チャン	ベトナム	山梨 RC	帰国
徐 芸昊 (ジョ イコウ)	中国	甲府 RC	千葉県
グエン ティ ミー リン	ベトナム	静岡北 RC	静岡県
賈 永波 (カ エイハ)	中国	藤枝南 RC	和歌山県
木尼熱 艾尼 (ムニラ アイニ)	中国	静岡日本平 RC	東京都
ロイハン フェルマナ シッディク アジア シャバニ	インドネシア	沼津北 RC	静岡県
ベウラニ ザナ	イラン	清水 RC	東京都
グエン ニヤット ヒエウ	ベトナム	浜松ハーモニーRC	静岡県
王 天馳 (オウ テンチ)	中国	静岡西 RC	帰国
采 国孝 (チャイ クオシアオ)	中国	浜松西 RC	大阪府
李 康玮 (リ コウイ)	中国	浜北 RC	帰国
馮 鋭 (フウ エイ)	中国	沼津 RC	宮城県



10. 2025-26 年度 新規・継続の米山奨学生一覧

(奨学生番号順)

氏 名	国籍	世話クラブ
文 成豪 (ブン セイゴウ)	中国	甲府北 RC
周 垚蒨 (シュウ ギョウサク)	中国	笛吹 RC
徐 超 (ジョ チョウ)	中国	甲府南 RC
グエン グエン チュック	ベトナム	甲府西 RC
ミヤ パール ソー	ミャンマー	清水中央 RC
アーマド チャイルディンムーヤルシャー	インドネシア	袋井 RC
朱 正宇 (チー ジェンユ)	マレーシア	静岡中央 RC
劉 璋康 (リュウ イコウ)	中国	大月 RC
于 千恒 (ウ センコウ)	中国	南アルプス RC
トラン タム ティ ミン	ベトナム	甲斐 RC
チャン トアン ドウック	ベトナム	甲府東 RC
ファム ニュン ティ フォン	ベトナム	甲府 RC
潘 伝昊 (ハン デンコウ)	中国	大月 RC
グエン ドウック チェン	ベトナム	甲府 RCC
ナン ソー カリヤー ウー	ミャンマー	静岡日本平 RC
フィン フー ヒエン ニャン	ベトナム	静岡北 RC
サクディア サムリ	インドネシア	駿河 RC
レー ティ ゴック チャム	ベトナム	静岡西 RC
趙 晨晨 (チョウ シンシン)	中国	藤枝南 RC
李 梓玉 (リ ジュウ)	中国	藤枝 RC
トラン スアン ヒエウ	ベトナム	静岡 RC
ラマリングム サントシュ	インド	浜松ハーモニー RC
王 雨婷 (オウ ウテイ)	中国	パワー浜松 RC
陳 依婧 (チン イセイ)	中国	浜松南 RC
黄 永航 (ウォン ヨンハン)	マレーシア	掛川 RC
李 俊儀 (リ シュンギ)	中国	都留 RC
趙 材鎬 (チョ ジュホ)	韓国	富士 RC
代 煜超 (ダイ コウチョウ)	中国	せせらぎ三島 RC
フィン ヴァンカン	ベトナム	浜名湖 RC



11. 2025-26 年度 主な行事予定

行事内容	実施予定日	場 所
第 17 期通常総会&奨学生交流会	2025 年 7 月 13 日(日)	米山梅吉記念館
柿田川湧水地清掃	9 月 6 日(土)	柿田川湧水地公園
米山奨学生・カウンセラー研修会	10 月 5 日(日)	米山梅吉記念館
清掃奉仕イベント	10 月 19 日(日)	三保松原 (静岡市)
(地区大会前日)学友 Exchange Meeting	12 月 6 日(土)	伊東市
地区大会本会議	12 月 7(日)	伊豆ベロドローム
米山奨学生期間終了式	2026 年 3 月 8 日(日)	グランディエール ブケトーカイ
新米山奨学生、世話クラブ・カウンセラーオリエンテーションと対面式	4 月 5 日(日)	グランディエール ブケトーカイ



2025-26 年度地区ロゴ



国際ロータリー第2620地区
Shizuoka Yamanashi
米 山 学 友 会



事務局： 〒411-0941
静岡県駿東郡長泉町上土狩 346-1
公益財団法人 米山梅吉記念館 内
メールアドレス yoneyama2620@gmail.com
フェイスブック <http://www.facebook.com/Ry2620>

